

ハードなアウトドア用品が災害時に役立つことは知られた話。しかし、都市型災害では、アウトドアでは想定できないような問題が発生することも多々ある。防災用品はいま急速に進化のスピードが速まっている。さまざまなシーンを想定した最新の防災グッズは、もしもの時にきつと役に立つはずだ。また都市型防災とはいえ、大きな都市部だけの話ではない。過疎地であっても、たとえば避難所内の人の密度が増せばそこは都市と同じ状況だということを理解しておきたい。



火災を大きくする前の初期消火は実に大切で、瞬時に対応しなくてはならない。投げるタイプの消火剤は操作いらず、訓練いらずで、誰にでも使用できるから有効だ。アイテム紹介▶P86

scene 1 ローリングストックで考える水と食料 ▶ P12~

「ローリングストック」とは、普段の食品を賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分は買い足すことで常に一定量の食品が家庭内で備蓄されている状態を保つための方法論。日常的な食品だけではなく、非常食もサイクルは長いが同様の考え方が当てはまる。

scene 2 病気やケガに備えて／除菌と清潔、トイレの確保 ▶ P24~

薬やメディカル用品といったアイテムだけではなく、災害時は除菌と清潔を心がけるだけで二次的な被害からも身を守ることが出来る。生理現象を我慢することで体調を崩す例もあり、トイレの確保も重要な問題。「清潔」は21世紀のモノが売れるキーワード。

scene 3 情報収集ツール ▶ P34~

災害時における「情報」の重要性は、平成に起きたいくつもの大きな災害から得た貴重な経験。電話もインターネットも通じないとき、われわれはどうやって情報を得るのか？情報は被災状況を知るだけではなく、状況を知ることで安心感も得られるのだ。

scene 4 防寒・防水 ▶ P42~

一年を通して晴れの日も多いが、日本は多雨な国である。そして多雨であるがゆえに、防水であることは日本のモノ作りに大きな影響を与えてきた。また防寒も冬場だけではなく、気温が下がる夜を安全に暖かく過ごすためにも必要な機能なのである。

scene 5 灯り ▶ P50~

人間は他の動物群とは異なり、灯りをコントロールできる生き物だ。灯りは夜の活動を容易にし、そこに人がいることを知らせ、同時に安心感も与えてくれる。ロウソクから電球、そして時代はLEDへと変遷し、灯りが防災時に機能するシーンはさらに高まったようだ。

scene 6 トランスポーターション／移動のためのツールたち ▶ P60~

東北の震災時、都心ではこれまであまり着目されなかった災害に見舞われた。それは鉄道の停止による、人々の移動。安全な場所への移動、自宅への徒歩による帰還など、トランスポーターションは都市型災害における重要な対策が必要であることを突き付けられた。

scene 7 眠りとプライベート空間 ▶ P72~

睡眠は最高の疲労回復剤である。避難所生活の実態がクローズアップされるにつれ、プライベートな空間の確保、そして十分な睡眠環境を整えることもまた、大きな災害の経験でわれわれが学んだこと。より快適に休み、眠るためのツール選びは切実なチョイスだ。

scene 8 緊急脱出 ▶ P82~

被災時の二次災害ほど怖いものはない。備えが不十分な状況では更なる困難が待ち受けている。火災や、水の害といった具体的な状況を想定した防災用品もいろいろ発売されているので、環境や地域性を考慮しつつ、家庭内の常備としても考えておきたい。

東急ハンズセレクト ▶ P22~23, 32~33, 40~41, 48~49, 58~59

われらが東急ハンズはずっと以前から、防災用品の重要性を発信し続けている。日本最高峰の目利きのバイヤーたちが選んだ、防災用品の「ハンズセレクト」に注目せよ！

セイシェル／携帯浄水器スタンダード

水の確保は防災の基本。溜まった雨水や川の水など、飲めそうだけど安全かどうかは判らない

水を、安心して飲むためのツールがこの「セイシェル携帯浄水器（スタンダード）」。



防災グッズ
大賞
ミネート品

最もシンプルだが最も効果的な浄水器
使い方は簡単、持ち運びも便利な逸品

不純物の除去・減少率は99.78%。携帯に便利なストラップ付き。交換用のフィルターも別売されている。海水は除去できないので注意が必要。価格8424円



をボトルに入れ、フタを閉めて、飲むだけ。天然ココナッツ活性炭を使ったろ過材を通して、150種類以上の有害物質を除去・減少してくれる。ろ過容量は380リットル。1日1リットルの水をろ過したとして、連続使用で約1年間使うことが出来る。ポリエチレン製のボトル本体の容量は約600ミリリットル。アウトドア用やサバイバルツールとしてはもちろん、防災用の備えとして、量に限りがあるミネラルウォーター以外に用意しておけば強い味方になる。国際赤十字、NATO、米国各州警察、英国海軍サバイバル学校、ケニア国立自然動物公園密猟保護隊などが採用している。過去20年の販売実績があり、世界への供給実績800万本以上という安心感も、買いだ！



吸い口のキャップを引き上げ、ボトルを逆さまにして飲むスポーツタイプ。水が心配な海外渡航先でも使える。

放射能セシウム134・137も含む150種類以上の有害物質を除去・減少

アキモト／PANCAN多言語シリーズ

震災後。被災者たちの切実な声を

聞いて、備蓄用の乾パンではなく、軟らかくて長期保存が可能なパンの開発に着手。そして1年後にパ



防災グッズ
大賞
ミネート品

NASAのスペースシャトルにも搭載されたニッポン生まれのパンの缶詰

アレルギー物質がピクトグラムで確認できる。さらにラベルのQRコードを読み込めば、より詳しい原材料情報が3言語で確認できるのも嬉しい。価格464円

パンの缶詰が生まれた。アキモトのパンの缶詰「PANCAN」シリーズは全13種類。ここで紹介する「おいしい備蓄食シリーズ」(賞味期限：製造より37ヶ月)は、オレンジ、ストロベリー、ブルーベリーと3つの味で展開。フワフワな口当たりで、とにかく美味しい。防災食に不味いではなく、防災食だからこそ美味しい。という製品としての本質をちゃんと実現している点を高く評価したい。訪日外国人向けに英語、中国語、韓国語の3言語対応。有事の際のおもてなし体制も万全である。



2009年にはスペースシャトル「ディスカバリー一号」に宇宙食として搭載された実績も！



現場から生まれた強力アイテムが大切な腕をガード、防寒対策にも



防災アイテムとして「耐熱グロ
ーブ」や「耐熱腕カバー」ま
で必要か？と首を捻る人もいるだ
ろう。実際、Sfactory「耐熱グロ
ーブ」「耐熱腕カバー」は、溶接現
場からの「革手袋は蒸れるし、洗
えない。軍手では弱い」という声
で開発された。結果、溶接の火玉
からも腕を守る耐熱性、手作業を
妨げない柔軟性、蒸れない通気性
があり、繰り返し洗えて清潔さも
保てるという特徴を併せ持つ優れ
モノとなった。どんな状況で発生
するか分からない災害時・避難時
大切な腕を守るための要素を網羅
した強力な防災アイテムと言えな
いか。しかも着脱が簡単なので、防
寒アイテムとしても利用できる。
首を捻った人も納得いただけるだ
ろう。

《耐熱グローブ》



腕全体をガードする、
だから安心!!

MiSUMi-VONA/Sfactory「耐熱腕カバー」
サイズ:フリー/素材:アラミド34%、綿66%/価格4900円
「耐熱グローブ」サイズ:フリー/素材:アラミド43%、綿
57%/価格4900円 @ミスミグループ ☎0120-
343-066 <https://jp.misumi-ec.com/>

編集部のとくちコメント ワーク系ショップをのぞいてみると、仕事現場からの声を反映して開発される商品は、要請が具体的な分、具体的な機能向上に努めるため、細部まで極めて高い機能性を有しているのに驚かされる。例えば、この「耐熱腕カバー」は手首側のマジックテープだけで簡単に着脱でき、同時に不要なタルミも生じないように工夫されている。

「温かい」が長時間続く携帯カイロあのジッポーのハンディウォーマー

災害はいつ発生するか分から
ない。それが冬であれば、当
然ながら防寒対策が必要となる。
写真はオイルライターではなくジ
ッポーの「ハンディウォーマー」
カイロである。ライターのように
直接オイルを燃やすのではなく、
本体内の特殊なガラス繊維に含ま
せたプラチナの触媒作用で発する
熱を利用。廃棄物を出さないエコ
なカイロと言える。バーナー部分
を温めてオイルの気化が始まった
ら、付属のフリース製ケースに入
れて使う。オイル注入カップ2杯
分の最大容量(25ml)で、約24時
間の使用できる。構造上、途中で
消すことはできないので12時間な
ら1杯、6時間ならその半分とい
う具合に調整して使用。優しい温
かさにホッとひと息。

ZIPPO/ハンディウ
ォーマー 携帯性抜群
のカイロ。サイズ:約W66
×H100×D15mm/重さ:
約60g/材質:真鍮/セ
ット内容:本体、注油カ
ップ、フリース袋、ZIPPO
オイル(133ml)、取扱説明
書/価格4860円 @マ
ルカイコーポレーション
☎06-6443-0072
[https://www.zippo-](https://www.zippo-japan.com/)
japan.com/

《ハンディウォーマー》



カイロといっても
あのZippo!!

ハンディウォーマー、フリ
ースケース、注入カップ、オ
イルをセットで販売。

編集部のとくちコメント もちろん使い捨てカイロを非常用持出袋に用意して、それで「暖を取る」という選択肢もあるが、「使い捨て」だけに使用後は廃棄しなければならず、それを気に掛ける人もいる。喫煙家に厳しい目が向けられる昨今だが、ライターではなくエコな「ハンディウォーマー」で貢献するジッポーには優しい目が向けられるかもしれない。

ニトムズ／ガラス飛散防止シート

日本の住宅にはガラス窓が多い。これは多湿な気候も影響しているように、風通しを良くし

する家作りの文化が、いまだに残ったものなのかもしれない。ところが災害時に室内から避難するとき

食器棚用ガラス飛散防止シート(幅32×長さ1.8m)、ガラス飛散防止シート(幅48×長さ1.8m)、ガラス飛散防止シート凹凸面用(幅48×長さ1.8m)、ガラス飛散防止シート凹凸面用広幅(幅96×長さ1.8m) 価格はいずれもオープン価格。



窓ガラスだけではなくサイドボードにも。また食器棚用のガラス飛散防止シートも用意されている。いずれもキレイに貼れる密着用ヘラ付き。<https://www.nitoms.com/>

あのコロコロのニトムズは粘着テープのスペシャリスト。防災用品も高評価

に、このガラス窓が割れた破片は非常に危険な存在に。靴を脱いで生活する日本の家庭では、ケガの予防となるガラス飛散防止シートの重要性は高い。地震や台風によるガラスの飛散防止対策としても効果がある。UV99%カットなので、室内のカーテンや家具、床、備品などへの紫外線の影響も低減してくれるのは嬉しい。

ガレキを踏んだり、引っかけたりして靴底がはがれてしまったシューズも、布粘着テープがあれば補強の応急処置も簡単。交通機関がマヒし、帰宅の際に長距離を歩くことで靴が壊れた話も耳にしたが、これがあれば安心。「布粘着テープ No.750」／オープン価格

【災害時の救世主？ 布粘着テープの隠れた実力】

普段から何気なく使っている布粘着テープだが、防災時に活躍する実力派だということは意外に知られていない。まず、布製はテープが手で切りやすいので便利。実際、東日本大震災の被災者たちからも「災害時に必要なもの」として挙げられているそうだ。破損箇所の応急処置、貼って即席の伝言板、避難所での段ボールのつなぎ合わせ、食料を入れた袋の口止め、ガラスの破片などを粘着面を利用してベタベタと片づけたりなど、その用途は無限。プロが選んだ高品質の「プロセルフ」なら安心。



タイカ／でるキャップ for kids for school

昨 年9月に発売された画期的な防災キャップ「でるキャップ」(89ページ掲載)の子供向けシ

リーズ「でるキャップ for kids」それにライブジャケットをセットした「でるキャップ for



「for kids」価格4860円 「for school」for kidsにライブジャケットをセット。価格1万5984円 ④タイカ ウエルネス事業本部 ☎0120-152047 <https://taica.co.jp/pla>

子供用の防災グッズは、子供にとって扱いやすいことが必要最低条件である

「for school」が今年7月に発売された。その特殊な構造は「でるキャップ」のページで確認していただきたい。「for kids」は6〜12歳(頭の外周50〜54cm)に対応。頭を押し付けることで頭部にフィットし、被ることができる120gの軽量防災キャップで、自分の頭に合うサイズのヘルメットを探す手間がなく、防災ずきん感覚で使用できる。しかも衝撃緩衝力は通常の防災ずきんの5倍の高さ。豊んだ状態なら学校のロッカーや防災ずきんカバーにすっと入れておくことができる。またセットのライブジャケット(650g)は、普段はクッションとして椅子に付けておくことができ、座った子どもが正しい姿勢を習慣づけられる機能もついている。前でバックルを止めるだけだから、いざというとき装着しやすく、加えて脱げにくい。なにより、子供に扱いやすいというところがポイントだろう。



右は「for school」を椅子にセットした状態。左は「for kids」を装着するところ。頭に載せ、押し付けて、あごひもを止める。子供でも簡単に3秒ほどで装着可能。



TOPICS